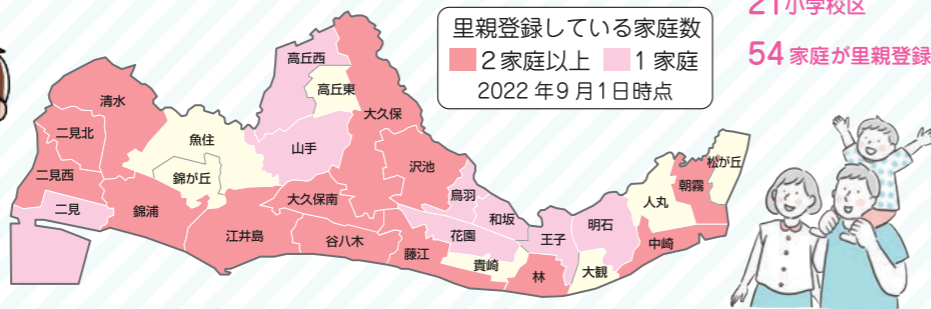


# 明石こどもセンターだより

第3号



明石市では、すべての子どもが家庭のぬくもりを感じながら、一人ひとりに望ましい環境で生活できるよう、【里親】を広げる取り組みに力を入れています。

明石市内の里親家庭は、明石こどもセンター開設から18家庭増えました。里親を必要とする子どもが、できる限りそれまでの生活環境を変えずに暮らし続けられるように、明石市では全28小学校区に1組以上の里親登録を目指しています。

里親に少しでも関心のある方は、毎月開催している里親相談会に是非お越しください。



里親相談会 無料 予約不要	
10/6 (木) 14時~16時 ①	明石こどもセンター (明石市大久保町ゆりのき通1-4-7)
11/9 (水) 10時~12時 ②	約20分のミニ講座もあります! ① 里親家庭で暮らす子どもからのメッセージ ② 里親に関するドキュメンタリーを見て ③ 児童文学の中の里子や養子たち ④ 里親ケースワーカーが里親に望むこと
12/14 (水) 14時~16時	
1/12 (木) 14時~16時 ③	
2/7 (火) 10時~12時	ウィズあかし8階803 (明石市東中ノ町6番1号アスピア明石北館)
3/10 (金) 10時~12時 ④	
ショートステイ里親説明会 無料 予約不要	
10/23 (日) 10時~12時	明石こどもセンター (明石市大久保町ゆりのき通1-4-7)

分からないこと、気になること、何でもご相談ください

**明石こどもセンター さとおや課**  
TEL: 078-918-5282 FAX: 078-918-5128  
E-Mail: satooyasodan@city.akashi.lg.jp

**あかし里親センター**  
TEL: 078-935-9720 FAX: 078-935-9721  
E-Mail: akashi.satooya@ainote.main.jp

## こどもたちの安心安全のために

明石こどもセンター所長 田中 典子

全国の児童相談所に寄せられる児童虐待の相談件数は毎年増え続け、子どもの死亡事例も後を絶たないなど、児童虐待は大変深刻な問題です。明石市においても相談は増加しており、明石こどもセンターは、すべての子どもの命を守り、幸せを実現することを目指して、全力で支援に取り組んでいます。

虐待を防ぐには、支援を必要とする子どもや家庭にできるだけ早く気づいて、必要な支援につなぐことが大切です。そして、早期発見には市民の皆様が必要です。子育てに悩んでいるお母さんやお父さん、気になる子どもの姿を見かけられたら、相談・通告先(1~2ページ記載)にご連絡をお願いします。また、虐待を受けた子どもや様々な事情で親と暮らせない子どものために里親家庭が増えることも必要です。

子どもたちが安心してすやかに成長できるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## ~身近で相談しやすいセンターを目指して~

### 相談受付の状況

明石こどもセンターは、身近な子育て支援から専門的な支援までを一体的に実施しています。現在4年目を迎えており、昨年度(2021年度)の相談件数は2,000件を超えています。【図1】

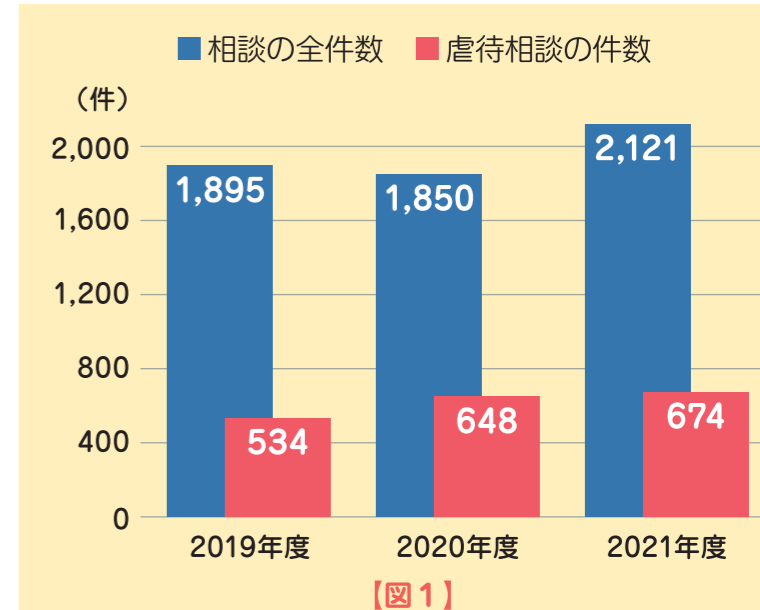


表1は2021(令和3)年に受けた虐待相談の相談経路別の割合です。2021年度の全国平均と比べ、近隣知人や児童委員などの地域住民、学校や保育所などの所属先からの相談が多いです。市民の身近な相談先であること、市の児童相談所なので連携がしやすいことが要因に挙げられます。一方で、本人からの相談は約1%のみとなっており、非常に少ない割合です。子ども自らSOSを出すことの難しさが現れているといえます。【表1】

【表1. 虐待相談の相談経路別の割合】

	警察等	近隣知人 児童委員	他自治体	学校等	家族・親戚	保育所等	児童本人	その他
明石市 2021年度	40.6%	18.0%	15.4%	11.9%	6.6%	4.9%	1.0%	1.6%
(参考:全国平均 2021年度)	49.7%	13.6%	10.3%	7.2%	8.4%	1.4%	1.2%	8.3%

### POINT

虐待件数が増えています。各所からの通告によって、虐待を受けている子どもがきちんと発見されている、見過ごされずケアに繋がっている子どもの数が増えていると理解してもらえたら幸いです。

### お問い合わせ・ご相談先

明石こどもセンター (平日8時55分~17時40分)  
TEL: 078-918-5097 FAX: 078-918-5128  
E-Mail: kodomoshien@city.akashi.lg.jp



詳しくは、次のページへ!

## 全ての子どもたちを まちのみんなで見守ろう

- すべての子どもたちがこのまちで大切に育てられ、健やかに成長していけるよう、行政も地域も一緒になって支えていきたいです。
- 11月は『児童虐待防止推進月間』です。子ども自身からSOSは出しにくいので、何か身近で気になることがあれば、是非、下記の番号にご連絡ください。訪問等により子どもの安全を確認し、早期に適切な支援を行います。
- 相談に関する秘密は守られます。

虐待相談ホットライン **078-918-5726** 24時間365日  
 全国共通ダイヤル **189** [いちはやく] 通話無料



- 昨今、ヤングケアラー<sup>(※)</sup>と呼ばれる方にも目を向けられつつありますが、自分ではそれが日常なため自らSOSを出すことは難しいです。そのような方に対して、“話を聞くこと”や“相談機関を紹介すること”は、私たちにできることのひとつだと思います。気にかけてくれる人が身近にいると思えるだけで、孤立感が和らぎ、心の負担が軽くなることもあります。下記の相談ダイヤルは本人からの相談を受け付けています。周囲に気になる方がいればご紹介ください。

※家族の世話や介護、家事などで、睡眠や勉強する時間が十分にとれないことや、希望する進学・就職ができないことが問題であるといわれています。



ヤングケアラー相談ダイヤル (24時間365日)  
 TEL **078-926-2525** FAX **078-926-2424**

### ケース1 機嫌によって左右する

仕事でイヤなことがあった、親族や友人との間でのモヤモヤ、予定通りに家事が進まないなど、イライラすることは誰しもあると思います。そんなとき、以前は叱っていない子どもの言動に対して、その時の気分(イライラ)によって子どもを叱ってしまうことは陥りがちな落とし穴の一つです。

⇒同じ言動をしても叱るときと叱らないときがあれば、子どもは混乱してしまいます。一貫性のある対応を心がけましょう。保護者の中に一定の基準やルールがあると良いですね。



### ケース2 直接関係のないことを持ち出す



宿題をせずにゲームばかりする、おもちゃを片付けない、きょうだいで絶えずケンカばかりしているなど、保護者がイライラしているときには、次から次へと約束を守らなかった子どもの言動が思い出されるとおもいます。

⇒過去のことをあれもこれもと引っ張り出して叱ると、今、何が問題なのかわからなくなってしまいます。『あのときも○○』『前もそうだった』などと言いたい気持ちは一旦グッとこらえましょう。今のことに絞って子どもに伝えるのがポイントです。

### ケース3 一方的に決めつける

イライラしているとき、子どもの話を聞くことや子どもの行動の背景に思いを巡らすことはとても難しいです。ついつい、保護者の思いを押しつけること、決めつけることなどが起きやすくなります。

⇒「いつも」「毎回」「必ず～そう」などと言うと、子どもはそうではないときのことを持ち出して反論します。きっかけとなった問題から話がズレていかないように気をつけましょう。子どもの話を聞いたり、行動の背景に思いを巡らせながら、『今』の問題を話し合えると良いですね。



[参考：イラスト版 子どものアンガーマネジメント,合同出版,2015]

### あかし子育て応援ナビ

妊娠期からの子育てに役立つ情報を検索できる総合サイトです。右記のQRコードを読み取り、アクセスするか、「明石市 あかし子育て応援ナビ」と検索してください。



### 子育て相談ダイヤル・こども相談ダイヤル

1人で抱えず、お話しください。心理士や保健師などの資格を持った職員が対応します。匿名でも構いません。

TEL: **078-926-2525** FAX: **078-926-2424**